【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【公開番号】特開2003-208068(P2003-208068A)
【公開日】平成15年7月25日(2003.7.25)
【出願番号】特願2002-6784(P2002-6784)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０３Ｇ　21/10
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｇ　21/00　　３１８

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月31日(2004.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アモルファスシリコンで被覆され、トナー像を担持する像担持体と、
　該像担持体に当接するクリーニングブレードと、を備えた像担持体クリーニング装置において、
前記クリーニングブレードを構成する基材は、少なくとも前記像担持体に当接する部分に研磨剤を内包しており、前記研磨剤が前記基材の表面から突出していることを特徴とする像担持体クリーニング装置。
【請求項２】
前記研磨剤は、酸化セリウム粒子、酸化チタン粒子、シリカ粒子、フッ化カーボン粒子、チタン酸ストロンチウム粒子の内、少なくとも１種類、もしくはそれらの混合物であることを特徴とする請求項１に記載の像担持体クリーニング装置。
【請求項３】
前記クリーニングブレードは、前記像担持体の回転方向の下流側から前記像担持体に当接していることを特徴とする請求項１に記載の像担持体クリーニング装置。
【請求項４】
前記基材は、ウレタンからなることを特徴とする請求項１に記載の像担持体クリーニング装置。
【請求項５】
トナー像を担持する像担持体の前記トナー像を被記録材に形成する画像形成手段と、
請求項１乃至４のいずれか１項に記載の像担持体クリーニング装置と、
を備えていることを特徴とする画像形成装置。
【請求項６】
色の異なるカラートナー像を担持する複数の像担持体の前記カラートナー像を被記録材に形成する画像形成手段と、
請求項１乃至４のいずれか１項に記載の像担持体クリーニング装置と、
を備えたことを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１８】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するため、本発明の像担持体クリーニング装置は、アモルファスシリコンで被覆され、トナー像を担持する像担持体と、該像担持体に当接するクリーニングブレードと、を備えた像担持体クリーニング装置において、前記クリーニングブレードを構成する基材は、少なくとも前記像担持体に当接する部分に研磨剤を内包しており、前記研磨剤が前記基材の表面から突出している。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３２】
【実施例】
以下、本発明の実施例の像担持体クリーニング装置、及びこの装置を装置本体に備えた画像形成装置の一例であるカラー電子写真複写機を図に基づいて説明する。なお、数値は、参考数値であり、本発明を限定するものではない。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
感光体ドラム３ａ，３ｂ，３ｃ，３ｄ上のトナー像が記録シートＰに転写されたとき、記録シートＰからはみ出て搬送転写ベルト１３０に付着して転写残トナーは、転写残トナー除去装置１６のクリーニングブレード２５によって除去される。